



2月の園だより



みらいきょく
こども未来局
ほいく こそだ すいしんぶ
保育・子育て推進部

れいわ ねん がつつたち かみあさおほいくえん
令和8年2月1日 上麻生保育園

さむ 寒さがより一層厳しくなってきましたね。 あたた かい しかん えんてい で 暖かい時間に園庭に出るようにしたり、 てきき つか あそ など 室内での遊びも充実させながら、 子どもたちが健康に楽しく過ごせるようにしたいと思います。

《2月の予定》

- 3日(火) せつぶんしゅうかい (幼児クラス)
5日(木) わくわくデー (幼児クラス)
17日(火) わくわくデー (幼児クラス)
19日(木) そつえんしきそうれんしゅう (5歳児クラス)
25日(水) にゅうじしゅうかい (乳児クラス)
東柿生小学校交流 (5歳児クラス)
26日(木) かきおしょうがっこうこうりゅう (5歳児クラス)
ふれあいサロン756
(5歳児クラスが参加します)
28日(土) 役員会
●あのねほいくしつ交流保育: 4日(水)・18日(水)
※月はじめ 身体測定
今月の防災訓練は職員員の訓練のため、予告なしで
行います。今月の園医検診は、ありません。

＜地域向け子育て支援の予定＞

○親子でランチ○

12日(木)・24日(火)

地域の親子が来園し、食事までの保育体験をします。

○遊びの広場「かっぱ広場」○

19日(木)

地域の親子が来園し、ひな人形を作ります。

※他にも園庭開放、室内開放、絵本の貸出し、
子育て相談も行っています。

寒い日が続きます。麻生区は、比較的感染症の発生が低く抑えられています。皆さんがそれぞれに気をつけてくれているおかげだと思っています。

それでも、寒い季節に気をつけたいことは、しっかり睡眠をとる、バランスの良い食事、手洗い・うがい、そして、身体を動かすことです。
(麻生区地域みまもり支援センターより)

☆保育環境の工夫(室外)☆

子どもたちが色々な身体の動きを経験することで、自分でも遊びを考えられ、片付けもしやすいよう職員で知恵を出し合い、子どもたちが生き生きと遊べる環境づくりをしました。

手押し車・引き車
ボールやマルチパーツを
たくさん入れて少し重く
して運んでいます。



バランスボード・びよんびよんボード
上に乗って左右に体重移動をしながら
バランスをとったり、トランポリンのように
ジャンプをしたりして遊んでいます。



段ボールの輪っか
電車ごっこや、中に入って
一人だけの空間にしたり、
使い方は色々です。



遊具棚
子どもたちが片付け
やすいようカゴに写真を
貼っています。

☆園で行っているプロジェクトについて☆

保育園ではより良い保育を目指していくために、様々な取組を行っています。今回は各プロジェクトでどのようなことをしているのかをご紹介します。

人権プロジェクト

職員研修として、全職員を対象に日常の保育の場面からロールプレイ研修を行い、意見交換することで人権意識を高めています。保護者の皆様とは、懇談会で絵本を通して人権について考え合ったり、人権を大切にしたい関わりについて等一緒にお話しをすることができました。子ども向けには、身近な話題から人権について考えられるように集会を行い知らせてきました。取組みを掲示しますので、是非ご意見をお寄せください。



食育プロジェクト

食事をおいしく、楽しく食べられる子どもに育ててほしいという思いを持って、食育年間計画のもとに子どもたちが様々な経験ができるように保育を行っています。今年度はその計画の見直しを行い「この年齢でこれを経験できるといいのでは」「食に興味を持てるようこんな活動をするのはどうか」など職員が共通の意識を持って食事の援助ができるよう学び合っています。



環境プロジェクト

春夏秋冬にわけて各クラスや2Fテラス、庭の環境を写真に撮って職員会議で「生活しやすい環境とは何か?」「年齢にあったおもちゃの設定」についてそれを見ながら意見交換をしています。保育者の思いや子どものエピソードを出し合うことで、新しいアイデアが生まれ、保育に生かれます。

でんえんちょうふかくえんだいがく れんけいじぎょう 田園調布学園大学との連携事業

麻生区公立保育園では毎年、田園調布学園大学で保育士を目指す学生向けに保育士による特別講義を行っています。事前に大学教授と保育現場の現状や学生の保育についての疑問や関心の情報共有を行った上、今年度は12月13日(土)講義に、上麻生保育園からも1名の保育士が講師として参加しました。未来の保育士の学生の方々の保育理解の助けとなるよう、保育園での日常の仕事内容だけでなく、子ども達の素敵な姿や日常のエピソードをたくさん知ってもらえる現場の声を伝えました。今後も未来の保育のために、実習生の受入れなどをおこなってまいりますので、ご理解の程、よろしくお願いいたします。